

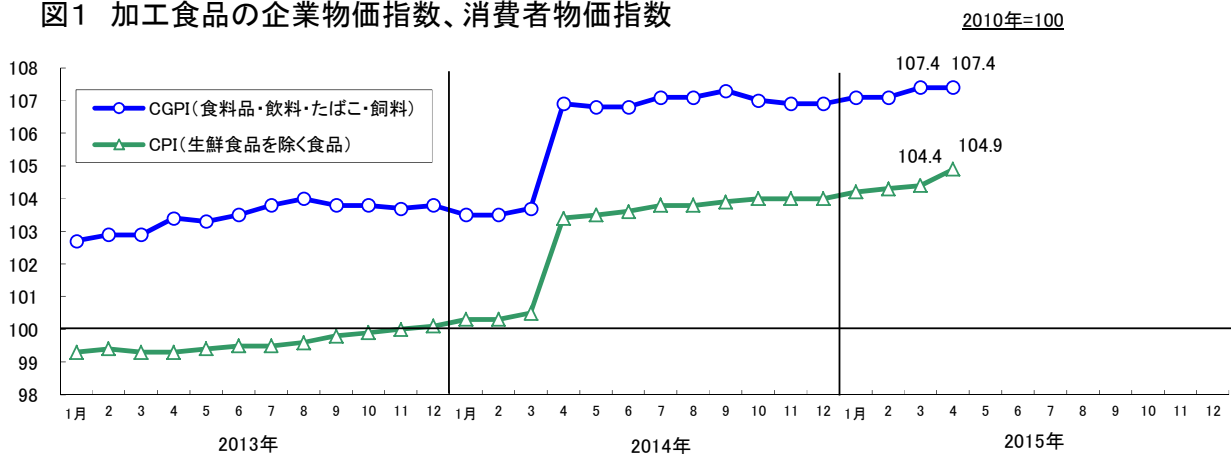
加工食品の物価及び生産・販売動向

1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価及び消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、2014年4月からの消費税引き上げにより上昇し、107.4と高水準で推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食品）は同104.9で、企業物価指数と同様に上昇基調となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

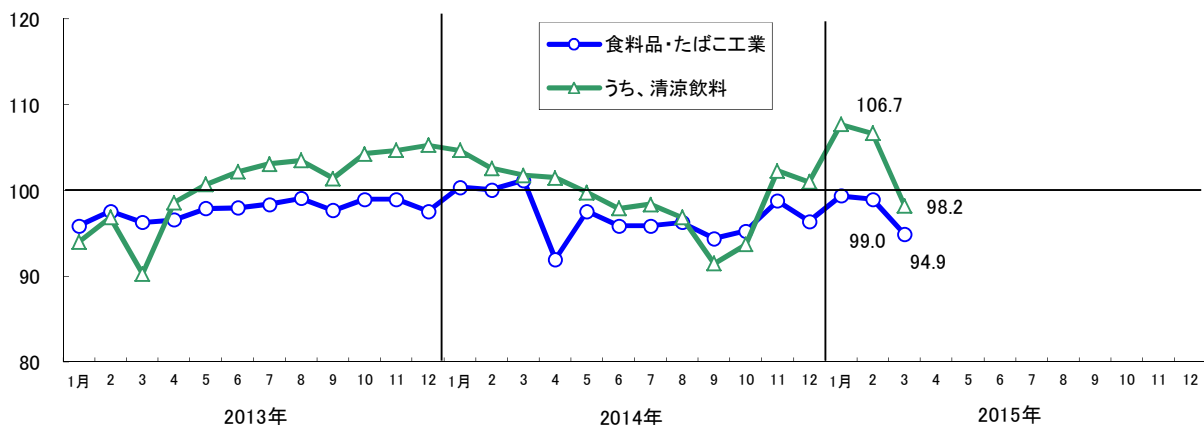
2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比でやや低下、うち、清涼飲料は同かなりの程度低下

3月の食料品・たばこ工業の生産指数は、94.9で前月比▲4.1%とやや低下となった。

うち、清涼飲料は98.2で前月比▲8.0%とかなりの程度低下となった。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2010年=100 季節調整済



資料：経済産業省「鉱工業生産指数」

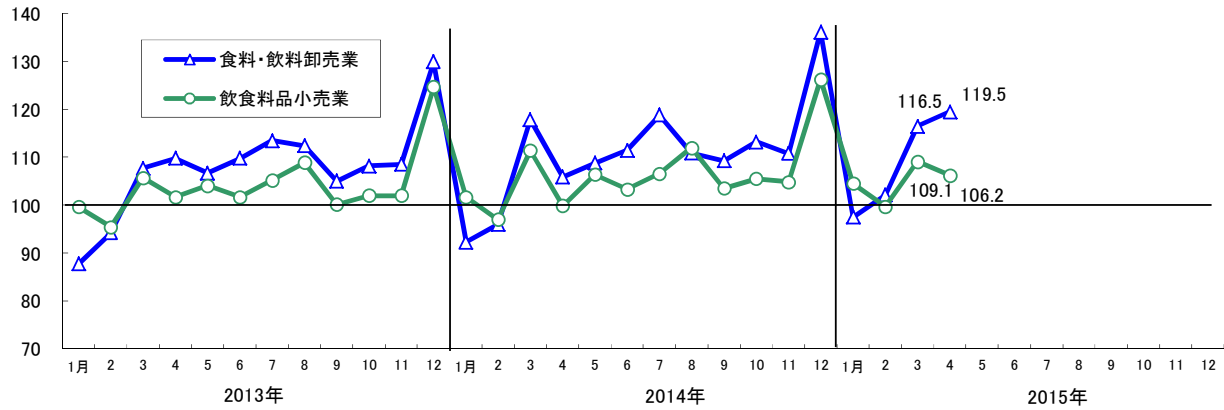
3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でかなり大きく増加、小売業販売額は同かなりの程度増加

2015年4月の食料・飲料卸売業の販売額指数は119.5で対前年同月比12.8%とかなり大きく増加した。

飲食料品小売業の販売額指数は106.2で同6.3%とかなりの程度増加した。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向



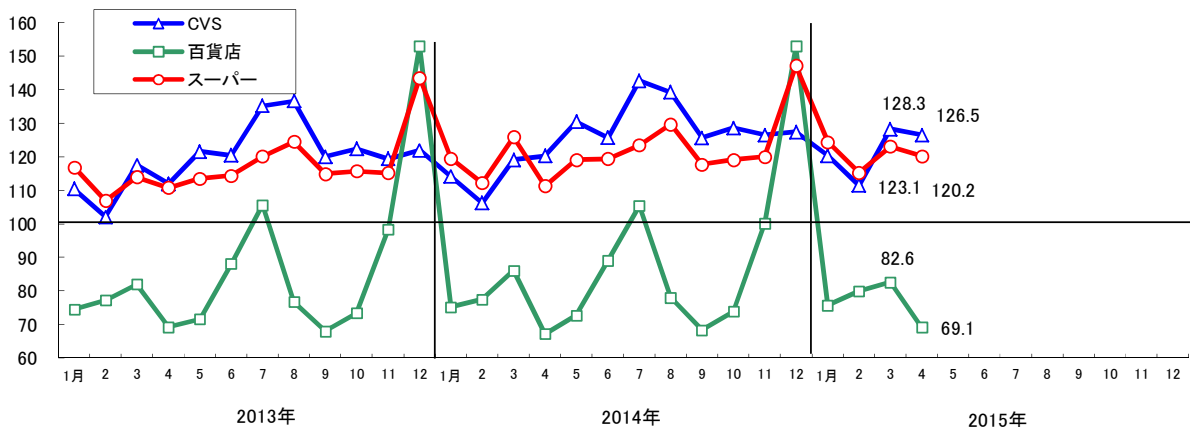
資料: 経済産業省「商業販売統計」

4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

スーパーは対前年同月比でかなりの程度増加、CVSは同やや増加、百貨店は同わずかに増加

2015年4月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは126.5で対前年同月比5.1%とやや増加、スーパーは120.2で前年同月比8.0%とかなりの程度増加、百貨店は69.1で前年同月比2.8%とわずかに増加で、先月はスーパー、百貨店では消費税増税の反動等により減少したものの、増加に転じた。コンビニエンスストアは堅調に推移している。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向



資料: 経済産業省「商業販売統計」

注: コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。